

表2(a) 気象データ標準書式

ファイル名 『*_a.xlsx』

年	月	日	時	分	外気温 ¹⁾	相対湿度 ²⁾	全天日射量 ³⁾	風向 ⁴⁾	風速 ⁵⁾	降水量 ⁶⁾	大気放射 or 夜間放射 ⁷⁾	雲量 or 日照時間 ⁸⁾	現地気圧 ⁹⁾	通番
-	-	-	-	-	℃	%	W/m ²	16方位 or 32方位 or 360°	m/s	mm	W/m ²	0~10 or 0~1.0	hPa	-
2020	1	1	0	0										1
2020	1	1	1	0										2
.	.	.	.	.										.
.	.	.	.	.										.
.	.	.	.	.										.
2020	12	31	23	0										8759
2020	12	31	24	0										8760

- 注 1 ファイル名 『*_xlsx』 の*はユーザが任意に決めます（*は表 2 (a)、(b)、(c) で共通とします）。
- 注 2 この書式（エクセル）は標準書式です。ユーザ用の書式は、ダイアログシートに入力または選択された条件にしたがい、弊社がこの標準書式を編集して作成します。
- 注 3 1行目、2行目は、ダイアログシートの条件にしたがい、入力されています。
- 注 4 年、月、日、時、分の列、及び通番の列には、ユーザがダイアログに入力または選択した条件により、文字または数値が入力されています。
- 注 5 ダイアログで『有』を選択したデータについて以下のように入力します。『あり』を選択しなかったデータの欄には、-999が入力されています。この-999は他の値等に変えないでください。
- (1) 外気温を入力します（単位は℃）。
 - (2) 相対湿度を入力します（単位は%）。
 - (3) 全天日射量を入力します（単位はW/m²）。
 - (4) 風向を入力します。入力する数値の単位は、ユーザがダイアログで16方位を選択した場合は0～16、32方位を選択した場合は0～32、度を選択した場合は0から360が表示されています。
 - (5) 風速を入力します（単位はm/s）。
 - (6) 観測時間幅における降水量を入力します（単位はmm）。
 - (7) 大気放射は上空からの長波長放射で、夜間放射とは大気放射と地表面放射の差です。（単位はW/m²）
 - (8) 雲量（0～10）または日照時間（0～1.0）を入力します。
 - (9) 現地気圧を入力します（単位はhPa）。
- 注 6 入力データに疑問点がある場合は、弊社からお伺いします。入力データの状況によっては、追加や変換のクオリティが低くなるか、ご要望の追加や変換をお引き受けできない場合もあります。